

登録コード	L2980200	開講年度	2026				
担当教員	小山 茂喜			副担当			
授業科目	社会科・公民科指導法						
英文授業名	Methods in Teaching Civics						
授業タイトル	社会科・公民科指導法						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・5時限
講義室	人文202演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			⇔	・生徒に対して現在の社会情勢の根本を理解させることができるような学習指導案の作成と授業を行うことができるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力			⇔	・現在の様々な政治・経済・社会現象の本質が何かを分析し、適格な判断をすることができるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			⇔	・作成した学習指導案と模擬授業に関わる討論を通し、より優れた学習指導案を作成することができるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】領域横断的な事柄に対する問題解決能力および創造的な企画構想能力			⇔	・国内外の政治経済、社会状況、文化等を総合的に勘案して、どのような事態にも対応する生徒を育成できる授業を構築（創造的な企画構想能力）・実践することができる。		
授業で学べる「テーマ」	キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	社会科・公民科の指導に関する理論と教育現場の実践的な知見を学ぶ。指導案作成・模擬授業等をつうじて、指導の技能を習得する。						
授業計画	第1回：社会系教科の学習指導要領の変遷 第2回：中等社会科・公民教育の目標と内容構成 第3回：中等社会科・公民教育の方法と評価 第4回：中等社会科・公民教育に関わる授業設計と教材開発1 第5回：中等社会科・公民教育に関わる授業設計と教材開発2 第6回：中等社会科・公民教育に関わる授業設計と教材開発3 第7回：中等社会科・公民教育に関わる授業設計と教材開発4 第8回：模擬授業1 第9回：模擬授業2 第10回：模擬授業3 第11回：模擬授業4 第12回：模擬授業5 第13回：模擬授業6 第14回：模擬授業7 第15回：まとめ 授業のふりかえり 定期試験（行わない）						
成績評価の方法	指導案（30％）、模擬授業の内容（40％）、参加態度（30％）の比率で、教師としての実践的能力の習熟度を総合的に評価する。						
成績評価の基準	規準…概ね目標が達成されているレベル ①…社会系教科の目的と目標を理解している。 ②…ねらいに即して教材開発や授業設計ができる。 基準 『かなり上にある』…場面や内容に応じて様々な学習理論を活用した授業設計を行うことができる。学習活動や内容に応じて、デジタル教材を自ら作成したり、ICT機器を活用して授業を設計することができる。 『やや上にある』…深い学びの展開に向けて、さまざまな教育理論を活用した授業設計ができる。						
事前事後学習の内容	教科の目的・教育内容に即して、授業計画を作成することから、内容に関わる素材研究を十分に行うこと。多角的・多面的に社会事象を捉えるリテラシーを習得することを目的に、新聞をはじめ各種メディアを幅広く活用すること。						
履修上の注意	社会系教科の免許状を取得する学生は必修科目である。						
質問、相談への対応	随時受け付ける。 メール（shigeki@shinshu-u.ac.jp）にて受け付ける。						
教科書	①「中学校学習指導要領」（文部科学省） ②「高等学校学習指導要領」（文部科学省） ③「中学校学習指導要領解説 社会編」（文部科学省） ④「高等学校 学習指導要領解説 公民編」（文部科学省） ⑤「大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論」田部俊充編 風間書房 2200円ISBN：						

教科書	978-4-7599-2434-3
参考書	特に指定しない。